



タイ東北地方の学校訪問 ～バンコク富山県人会の活動から～

北陸銀行 国際部
バンコク駐在員事務所
所長 湧川 裕明

1. はじめに

2023年12月15日、バンコク富山県人会のチャリティー活動の一環で、タイ東北地方サコンナコーン県の学校を訪問し、県人会からの奨学金で学費を賄っている生徒にお会いしてきました。タイの所得格差の状況と合わせてレポートしたいと思います。

2. 学校訪問



訪問先について

- タイ東北地方 サコンナコーン県
(バンコクから飛行機で約1時間)
「バーンパーンサハラートバムルン学校」
- 小中併設校
- 生徒総数243名
- 奨学金受給の生徒数10名
(うち富山県人会からの奨学金受給の生徒3名)

校長、教頭他先生方、県人会からの奨学金を受けている生徒3名(いずれも中学1年生)や他の生徒数名と面談しました。面談後は、奨学金とは別に学校宛にお送りした寄付金で購入された給食調理用炊飯器の寄贈式や施設案内がありました。その後、校長先生の案内で県人会からの奨学金を受給している生徒3名の自宅を訪問し、家族の方と面会しました。



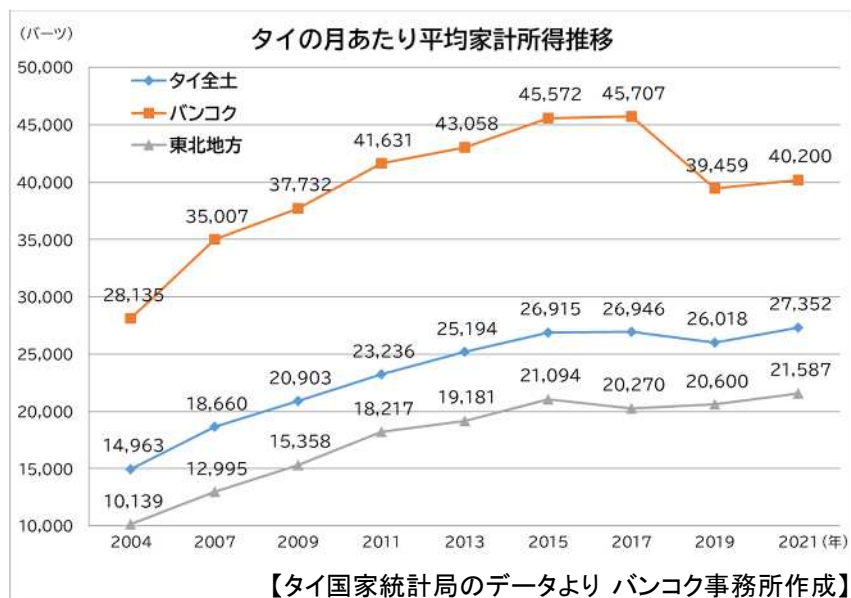
【炊飯器の贈呈式の様子】

寄付金は生徒一人当たり6,000バーツ(約2万5千円)で、この金額で中学校3年間の学費が賄えるそうです。校長先生のお話では、生徒の家庭のうち7割の両親が離婚していて、

貧しい環境の家庭が多いとのことでしたが、訪問した家庭も3人中2人が片親の家庭でした。そのような中でも奨学金を受けて勉学に励んでおり、将来について尋ねると、「弁護士になりたい」、「絵が得意なので絵描きになりたい」と、とても前向きに考えている生徒さんたちで、訪問した我々も元気をもらいました。

3. タイの地域間所得格差

下のグラフは、タイの1か月当たりの平均家計所得の推移です。ご覧の通り、バンコクが全国平均より突出して高い水準となっており、今回訪問したサコンナコーン県を含む東北地方とは2倍近くの開きがあります。企業、工場、観光資源が集中しているバンコク首都圏と農業中心の東北地方とではこれだけの所得格差が生じているのが、タイの現状です。バンコクには富裕層が多く住んでいることも格差が大きい要因と言えます。今回訪問した学校付近では、生徒宅へ行く道路は未舗装の部分が多く、インフラ整備も地方の課題になっていると感じました。



4. おわりに

今回の学校訪問は、普段バンコクで生活している者にとって、タイの地方の実態を自分の目で見て、地域間格差を肌で感じる貴重な機会でした。わずかではありますが、県人会活動が地方の教育に貢献していることも確認でき、今後もできる範囲でお手伝いしていきたいと思いました。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。
記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
((株)人材情報センター内)
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp